

東京都港区 MCS地域包括会計事務所 第2回協議会が開催されました

春寒の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年12月に続き東京都港区の丸山定夫先生（MCS税理士法人）が第2回目となる「地域包括会計事務所 第2回協議会」を3月6日に開催しました。

今回は地域包括ケアの意義と現状、高齢者住宅の情報について情報交換を行いました。まず、前回参加されなかった方が大半を占めましたので、丸山先生より、前回に開催した際に會田顧問より話のあった地域包括ケアの求められている背景やそのあるべき姿、今後の国の方向性などについて説明し、団塊の世代が75歳となる2025年に向けて、社会保障制度の大幅な変更点、それに伴った今後の「地域包括会計事務所」の役割などについて約1時間講演しました。引き続き、今回のテーマでもある高齢者住宅について積水ハウス株式会社様、大和ハウス工業株式会社様からそれぞれ、自社のサービス付き高齢者住宅の説明がありました。これからの施設の整備に絡み、空き部屋や空きテナントの有効活用の提案や相続税への支援といった新たなサービスの紹介もありました。今後の超高齢化社会に向け、両社ともに高齢者住宅へ力を入れているようです。

後半には前回に引き続き、参加者間の自己紹介や意見交換が行われ、港区の現状についての問題定義もいくつか出されました。今後の協議会への期待の高さを感じ、「MCS地域包括会計事務所 第2回協議会」は閉会しました。



次回、第3回協議会は4月10日（木）に開催されます。丸山先生より見学、参加は自由との事でしたので、ご興味のある方は是非、参加下さい。